

結果の概要

1 母の就業状況

(1) 母の第1回調査及び第2回調査の就業状況

母の有職の割合は42.0%、第1回調査(35.4%)から6.6ポイント増加

母の第2回調査の就業状況は、「無職」56.9%、「有職」42.0%で、第1回調査（「無職」63.9%、「有職」35.4%）より「有職」の割合が6.6ポイント増加した。

新たに職に就いた者（第1回調査「無職」で第2回調査「有職」16.0%）のうち、69.8%は「勤め（パート・アルバイト）」である。（表1、図1、統計表1）

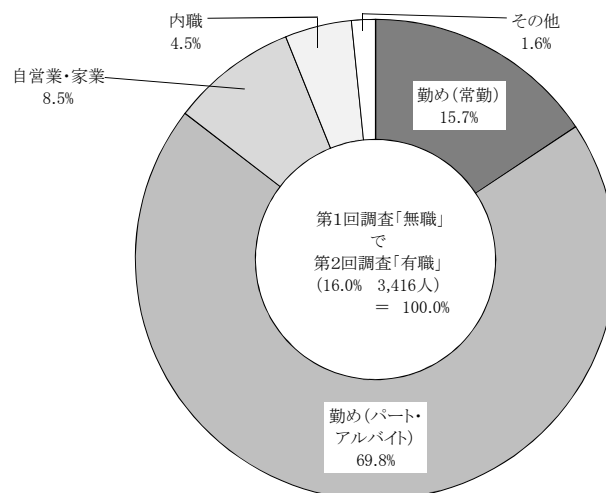
表1 第1回調査及び第2回調査の就業状況

(単位:%)

第1回調査 (出産半年後)	第2回調査 (1歳6か月)	総数 ³⁾	無職 ³⁾			有職						
			無職 ³⁾	い仕事を探して	いな仕事を探して	勤め(常勤)	ア勤め(パート・アルバイト)	自営業・家業	内職	その他		
総数 ³⁾	(100.0)	100.0	56.9	5.1	48.6	42.0	23.4	13.7	3.7	0.8	0.4	
無職 ³⁾	(63.9)	100.0	82.5	6.9	71.5	16.0	2.5	11.2	1.4	0.7	0.2	
仕事を探している	(5.1)	100.0	41.9	14.0	24.8	56.1	12.2	40.2	2.0	0.9	0.7	
仕事を探していない	(58.6)	100.0	86.1	6.3	75.7	12.6	1.7	8.7	1.3	0.7	0.2	
有職	(35.4)	100.0	10.3	2.0	7.3	89.2	61.5	18.3	7.9	0.9	0.7	
育児休業中	(23.3)	100.0	8.4	1.8	5.9	91.1	78.6	11.5	0.6	0.1	0.3	
就業中	(12.1)	100.0	13.9	2.3	9.9	85.5	28.5	31.3	21.9	2.4	1.3	
勤め(常勤)	(3.2)	100.0	4.4	1.5	2.2	95.0	84.5	6.3	3.8	0.1	0.3	
勤め(パート・アルバイト)	(4.2)	100.0	12.7	3.0	8.6	86.5	10.0	72.1	2.6	0.8	1.0	
自営業・家業	(3.5)	100.0	17.2	1.7	12.6	82.7	3.7	8.7	68.2	0.7	1.5	
内職	(0.7)	100.0	32.5	3.8	25.3	65.8	3.8	26.6	1.7	32.9	0.8	
その他	(0.5)	100.0	34.9	2.3	28.6	62.9	26.3	17.1	10.3	-	9.1	

- 注：1) 第1回調査及び第2回調査の両方の時点で、対象児本人が母と同居している場合（総数 33,311人）のみ集計。
 2) 第2回調査時点で育児休業中の場合は、復職するときの就業状況で分類している。
 3) 総数には、就業状況「不詳」を含み、無職には、「求職状況不詳」及び「学生」を含む。
 4) ■ は、就業状況に変化のないものである。

図1 新たに職に就いた者の就業状況



注：第1回調査で「無職」、第2回調査で「有職」の母と対象児本人が同居している場合のみ集計。

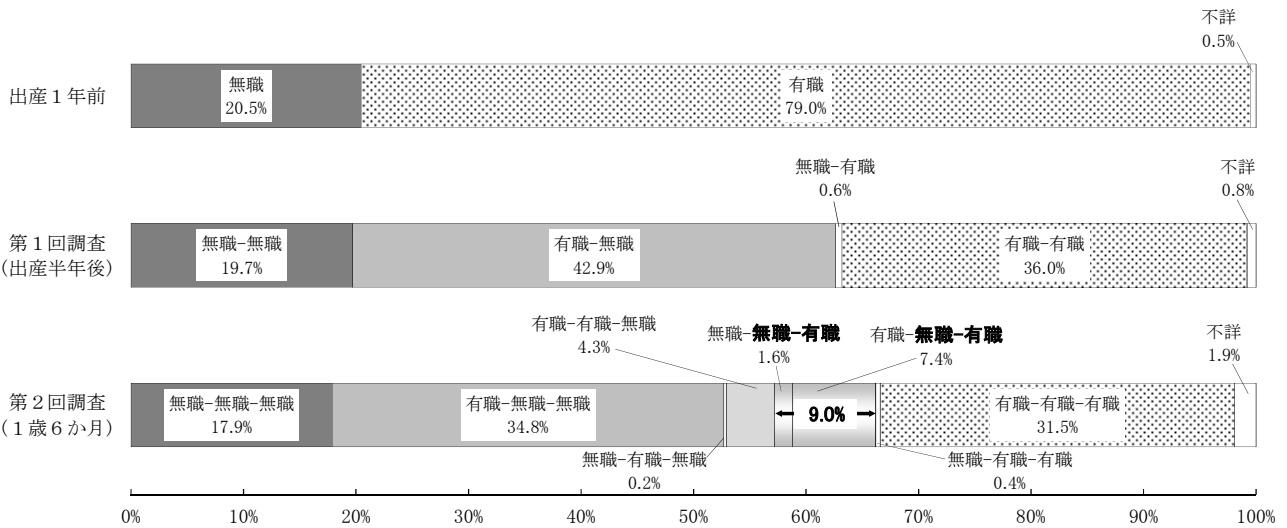
(2) 第1回調査で子どもが1人(対象児本人のみ)だった母の就業状況

出産1年前から継続して「有職」の母の割合は31.5%、平成13年出生児調査(19.9%)に比べ11.6ポイント高い

第1回調査で子どもが1人(対象児本人のみ)だった母の就業状況の変化を有職・無職別にみると、出産を機に「有職」から「無職」になった者は42.9%であり、第2回平成13年出生児調査の49.8%に比べ6.9ポイント低くなっている。

第1回調査から第2回調査において「無職」から「有職」になった者は9.0%であり、第2回平成13年出生児調査の8.6%とほぼ同じであるが、出産1年前から継続して「有職」の者は31.5%であり、第2回平成13年出生児調査の19.9%に比べ11.6ポイント高くなっている。(図2、統計表2)

図2 第1回調査で子どもが1人(対象児本人のみ)だった母の就業状況の変化



(参考図:平成15年公表) 第2回平成13年出生児調査の結果

